

内分泌かく乱化学物質問題の各省庁フロー図

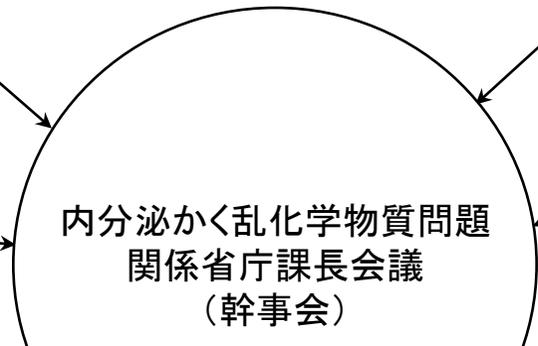
〈調査研究〉

○文部科学省
科学技術の振興の観点から
 大学や独立行政法人等における
 基礎研究の推進

○経済産業省
主として科学的知見に基づく
適正管理の観点から
 化学物質の内分泌かく乱作用の
 スクリーニング試験方法等の確立

○国土交通省
主として水環境の保全の観点から
 河川、下水道に係る調査研究
主として海洋汚染防止の観点から
 海洋汚染調査

○厚生労働省
主として人体影響の観点から
 人の暴露実態調査・作用メカニズムの解明・
 人に対する健康影響評価
 内分泌かく乱作用の毒性評価方法等の確立



○環境省
主として環境保全への観点から
 ・研究の推進
 ・試験法の開発及び評価の枠組みの確立
 ・試験及び評価の推進
 ・一般への情報提供及び国際協力の推進
 等

○農林水産省
主として食料の品質向上・安定供給の観点から
 農林水産生物への影響実態調査、農林水産生
 態系での動態解明、等

〈成果〉

内分泌かく乱作用を有する物質の把握、試験方法の確立等
 環境汚染の実態把握、環境中挙動・作用メカニズムの解明、人への健康影響評価、環境リスク評価等

〈内分泌かく乱化学物質に関する総合的な対策の推進〉

- ・健康、生態系への影響の未然防止対策（厚生労働、農林水産、経済産業、国土交通、環境）
- ・食品、食器包装、家庭用品等の安全確保対策（厚生労働、農林水産）
- ・環境への排出抑制（環境）
- ・労働環境の安全確保（厚生労働）
- ・河川、下水道での対策（国土交通）
- ・農薬の安全確保、適正使用（農林水産、環境）
- ・業界の技術指導、代替品開発等（農林水産、経済産業）